

みずほCustomer Desk Report 2022/08/01号 (As of 2022/07/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	134.63
TKY 9:00AM	134.40	1.0193	136.99	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	134.67	1.0255	137.32	1.2173	0.6998
SYD-NY Low	132.51	1.0147	135.58	1.2245	0.7032
NY 5:00 PM	133.22	1.0227	136.27	1.2065	0.6912
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,845.13	▲ 315.50	日本2年債	▲0.0900%	▲0.0100%
NASDAQ	12,390.69	▲ 228.09	日本10年債	0.1800%	▲0.0200%
S&P	4,130.29	▲ 57.86	米国2年債	2.8885%	0.0222%
日経平均	27,801.64	▲ 13.84	米国5年債	2.6803%	▲0.0168%
TOPIX	1,940.31	▲ 8.54	米国10年債	2.6568%	▲0.0128%
ソコ日経先物	28,000.00	▲ 125.00	独10年債	0.8225%	0.0240%
ロンドンFT	7,423.43	▲ 78.18	英10年債	1.8505%	▲0.0195%
DAX	13,484.05	▲ 201.94	豪10年債	3.0820%	▲0.1370%
ハンセン指数	20,156.51	▲ 466.17	USDJPY 1M Vol	11.37%	0.97%
上海総合	3,253.24	▲ 29.34	USDJPY 3M Vol	10.83%	▲0.12%
NY金	1,781.80	▲ 12.60	USDJPY 6M Vol	10.38%	▲0.20%
WTI	98.62	▲ 2.20	USDJPY 1M 25RR	▲1.16%	Yen Call Over
CRB指数	292.06	▲ 3.04	EURJPY 3M Vol	12.63%	▲0.31%
ドルインデックス	105.90	▲ 0.45	EURJPY 6M Vol	12.21%	▲0.29%

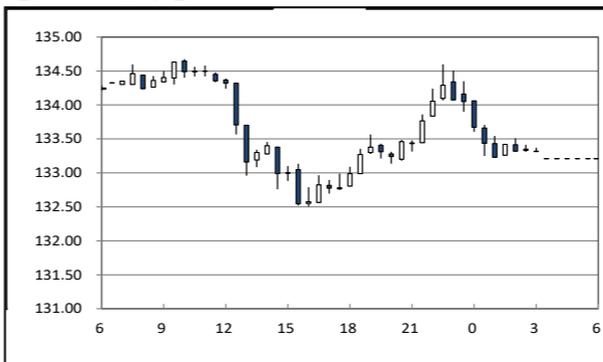
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月29日	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	7月 2.5%/2.3%/1.2%	2.4%/2.2%/1.1%
	08:30	日 失業率	6月 2.6%	2.5%
	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	6月 8.9%/−3.1%	4.2%/−7.0%
	18:00	欧 CPI速報値(前年比/前月比)	7月 8.9%/0.1%	8.7%/−0.1%
	18:00	欧 コアCPI・速報	7月 4.0%	3.9%
	18:00	欧 GDP(前期比前年比)	2Q A 0.7%/4.0%	0.2%/3.4%
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	6月 1.0%/6.8%	0.9%/6.8%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	6月 0.6%/4.8%	0.5%/4.7%
	21:30	米 個人所得/支出(前月比)	6月 0.6%/1.1%	0.5%/1.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	7月 51.5	51.1
7月31日	10:30	中 製造業PMI	7月 49.0	50.3
	10:30	中 非製造業PMI	7月 53.8	53.9

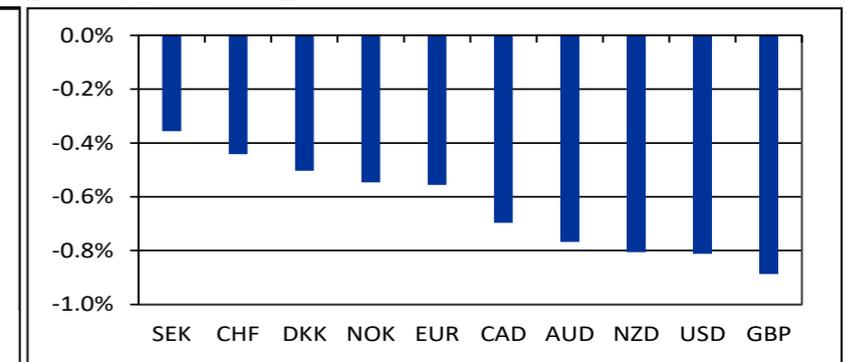
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月1日	15:00	独 小売売上高(前月比)	6月 0.3%	1.2%
	18:00	欧 失業率	6月 6.6%	6.6%
	23:00	米 建設支出(前月比)	6月 0.2%	−0.1%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	7月 52	53

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.30-134.40	1.0140-1.0280	135.60-137.00

【マーケット・インプレッション】

7/29のドル円は28日に発表された米GDPの軟調な結果を受けたドル売りを受けて、東京時間からストップロス巻き込んで急落し、132.51をつける。その後発表された米経済指標の好調な結果を受け134.60まで戻すも米金利が再び下落する動きに再度上値が重くなり、133.22レベルでのクローズとなった。
 本日のドル円は上値の重い推移が継続すると予想。世界的なりセッション懸念の加速により、今年3月以降積みあがっていた円ショートポジションを閉じる円買いの動きが先日の急速な下落につながったと思われる。米金利の下落基調が継続していることから、再度下値を試す展開に警戒したい。

東京	東京時間のドル円は134.40レベルでオープン。仲値にかけて134.67をつけるもその後実需のドル売りに押されて下落。134円を割り込むとストップロス巻き込んで下落ペースが加速する形となり133円割れの水準まで下落。その後一旦133.40近辺まで戻すも海外勢の参入により再びドル売りが強まり、132.52までつけて132.55レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.55レベルでオープン。朝方はECB副総裁の通貨市場を注視しているとのコメントにユーロが買われていたが、すぐに利益確定の売りが入りドル円は程なく133.56円まで買い戻される。結局133.45レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	今後は会合毎に金融政策が決まるようになっていくことからUSDは買いづらい中、海外市場で米GDP結果を受けドル売りも継続し、ユーロも問題が多く買いづらいことから、次に流動性の高い円買いが強まったこともあり、ドル円は海外市場で50日移動平均線が観測されている134.27を下抜けすると、クロス円のストップロスも加わり、一時132.51まで下落し、133.45レベルでNYオープン。朝方は米第2四半期雇用コスト指数、並びにPCEコア、個人所得、支出も予想を上回ったことからドルが買い戻される展開に134.60まで急速に戻す。しかし一旦上昇した米金利が反落する動きをうけドル売りが優勢となり、133.22まで下落する。午後は週末を控え狭いレンジでの推移が続き、133.21を付け、133.22レベルでクローズした。一方、ユーロドルはドル売りやユーロ圏のGDPが予想ほど悪くなかったことから一時1.0255まで戻すが上値は重く1.0210レベルでNYオープン。朝方は一連の米経済指標を受けドルが買い戻される展開にユーロドルは1.0147まで反落する。その後は米金利が低下する展開に1.0212までサポートされる。午後はロシアがドイツにタービンを輸送することに同意していない等、引き続きノースストーム1をめぐるヘッドラインが伝わるものの、ユーロドルの反応は限定的となり、終盤に掛けてはじり高で推移し1.0227レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西・小野崎